



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社

コード番号 9962 URL <http://www.misumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 大野 龍隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 CFO (氏名) 男澤 一郎

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日

TEL 03-5805-7401

平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (機関投資家向け資料)

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け説明会)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	98,708	19.3	12,608	28.3	12,162	23.6	7,637	26.3
26年3月期第2四半期	82,743	27.3	9,824	20.0	9,842	22.2	6,048	50.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 7,862百万円 (5.2%) 26年3月期第2四半期 7,474百万円 (99.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	83.91	83.66
26年3月期第2四半期	66.80	66.54

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	172,140		123,628			71.5
26年3月期	163,201		116,577			71.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 123,005百万円 26年3月期 115,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	16.68	—	15.48	32.16
27年3月期	—	20.94	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	16.90	37.84

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は配当性向を基準に配当を決定しているため、利益の変動により配当額が増減いたします。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,700	15.4	23,300	22.7	22,900	19.5	13,800	18.2	151.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	91,244,884 株	26年3月期	90,983,484 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	41,975 株	26年3月期	41,945 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	91,013,702 株	26年3月期2Q	90,546,923 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月の消費税率引上げに伴う需要の反動減やそれに伴う生産の弱含み、並びに個人消費や企業収益の改善の足踏みといったように一部に弱さも見られます。しかしながら、引き続き増加傾向にある設備投資や改善が続く雇用・所得情勢に支えられ、緩やかな回復基調が継続しました。世界経済では、米国は回復基調が継続しており、欧州では政府債務問題の影響といった懸念材料は存在するものの総じて持ち直してきつつあります。アジア地域においては、中国では景気の拡大テンポが緩やかになっているほか、アセアン地域は総じて足踏み状態となっております。

このような環境において当社グループは、高品質・短納期・低価格を追求するとともに高い納期遵守率を維持しつつ業績の拡大に取り組んでいます。さらに、海外の全現地法人に導入したウェブカタログやウェブ受注システムにより、「設計時間・発注の手間を削減したい」という顧客の潜在ニーズに応えるなど、価格だけでなく利便性の向上にも取り組んでいます。国際市場では、大手顧客を中心に広がる短納期・大口ニーズに対応すると同時に、最適調達を目的とした現地生産や現地調達の取り組みも着実に実を結んでおります。国内では、自動車やスマートフォン関連などの需要増を取り込んだことにより、FA事業を中心として売上が大幅に伸長し、連結売上高全体の増加を牽引しました。

この結果、連結売上高は987億8百万円、対前年同期比で159億6千4百万円（19.3%）の増収となりました。利益面につきましては、営業利益は126億8百万円、対前年同期比27億8千4百万円（28.3%）の増益、経常利益は121億6千2百万円、対前年同期比で23億2千万円（23.6%）の増益、四半期純利益は76億3千7百万円、対前年同期比で15億8千8百万円（26.3%）の増益となりました。

・報告セグメントの業績

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

①FA事業

FA事業においては、主要顧客層である自動車業界と液晶・半導体などのエレクトロニクス関連業界の需要が堅調に推移しました。そのような状況下、国際市場においてミスミモデルを浸透させることによる顧客数の拡大などにより、売上高は480億2千4百万円となり、前年同期比では82億9千8百万円（20.9%）の増収となりました。営業利益は92億5千5百万円となり、前年同期比では20億9千1百万円（29.2%）の増益となりました。

②金型部品事業

金型部品事業は、主要顧客である自動車関連業界が底堅く推移したことにより、売上高は307億8千万円となり、前年同期比では32億7千1百万円（11.9%）の増収となりました。営業利益は22億9千3百万円となり、前年同期比では4億8千4百万円（26.8%）の増益となりました。

③VONA事業

VONA事業は、FA事業や金型部品事業で行っているミスミオリジナル商品の販売ではなく、他社ブランドの販売も含めた新たな流通事業として取り組んでいる事業です。非効率・高コストの流通プロセスを独自のモデルで変革し、強力な基幹システムとウェブで顧客の利便性を向上することにより、流通モデルの変革を起こすことを狙っております。取り扱いメーカー数を平成25年4月時点の約300社から平成26年9月時点で6倍以上の1,800社超まで拡大させ、生産間接資材分野で最大の品揃えを実現しました。これに伴い着実に顧客数を伸ばすことで、売上高は222億8千8百万円となり、前年同期比では44億1千4百万円（24.7%）の増収となりました。一方、営業利益は積極成長戦略に伴う先行経費負担等により21億円となり、前年同期比では4億2千3百万円（△16.8%）の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ89億3千8百万円増加し、1,721億4千万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が32億8千2百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が37億4千5百万円増加したこと、商品及び製品が16億9千8百万円増加したことなどにより流動資産が99億7千1百万円増加したこと、有形固定資産が12億5千9百万円増加したこと、無形固定資産が21億9百万円減少したこと、及び投資有価証券等の投資その他の資産が1億8千3百万円減少したことです。

総負債は前連結会計年度末に比べ18億8千7百万円増加し、485億1千1百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が11億7千5百万円増加したことなどにより流動負債が12億2千3百万円増加したこと、固定負債が6億6千3百万円増加したことです。

純資産は前連結会計年度末に比べ70億5千1百万円増加し、1,236億2千8百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が61億9千7百万円増加したことなどにより株主資本が68億8百万円増加したこと、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が2億3千1百万円増加したことです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の71.1%から71.5%となりました。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ61億3千4百万円増加し、338億2千2百万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは59億7千3百万円の純収入となりました（前年同期は74億8千3百万円の純収入）。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が121億6千2百万円、減価償却費が26億5百万円、のれん償却額が8億8百万円、売上債権の増加額が38億9千6百万円、たな卸資産の増加額が16億2千7百万円、仕入債務の増加額が7億8千5百万円、法人税等の還付額が4億3百万円、法人税等の支払額が42億8千8百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、56億7千4百万円の純支出となりました（前年同期は77億6千4百万円の純支出）。この主な内訳は、有価証券の売却及び償還による収入が23億円、固定資産の取得による支出が43億5千8百万円、定期預金の預入による支出が165億3千1百万円、定期預金の払戻による収入が131億9千4百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、9億7百万円の純支出となりました（前年同期は10億2千万円の純支出）。この主な内訳は、配当金の支払額が14億7百万円、株式の発行による収入が5億円です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、足元の業績動向を受けて、平成27年3月期の連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

[平成27年3月期 通期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）連結業績予想]

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	一株当たり 当期純利益 (円)
今回修正予想	200,700	23,300	22,900	13,800	151.48
前回発表予想	196,000	20,500	20,500	12,300	135.25

配当予想につきましては、平成26年10月29日に公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

これに伴う第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債及び利益剰余金への影響は、軽微であります。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は、軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,951	52,234
受取手形及び売掛金	35,373	39,118
有価証券	2,303	600
商品及び製品	16,771	18,469
仕掛品	1,554	1,731
原材料及び貯蔵品	4,190	4,038
その他	5,029	7,958
貸倒引当金	△201	△209
流動資産合計	113,972	123,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,285	9,750
機械装置及び運搬具（純額）	6,772	8,855
土地	3,837	3,830
その他（純額）	4,829	2,546
有形固定資産合計	23,725	24,984
無形固定資産		
ソフトウェア	4,352	3,948
のれん	6,341	5,328
その他	10,089	9,398
無形固定資産合計	20,784	18,675
投資その他の資産		
投資有価証券	1,750	1,151
その他	3,069	3,488
貸倒引当金	△99	△103
投資その他の資産合計	4,719	4,536
固定資産合計	49,229	48,196
資産合計	163,201	172,140

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,485	11,661
短期借入金	900	900
未払法人税等	3,682	4,590
賞与引当金	2,770	2,511
役員賞与引当金	449	180
その他	10,380	10,049
流動負債合計	28,669	29,892
固定負債		
新株予約権付社債	10,292	10,945
役員退職慰労引当金	1,082	—
退職給付に係る負債	3,096	3,330
その他	3,483	4,342
固定負債合計	17,954	18,618
負債合計	46,624	48,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,375	6,680
資本剰余金	16,763	17,069
利益剰余金	90,004	96,202
自己株式	△71	△71
株主資本合計	113,072	119,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	10
為替換算調整勘定	2,938	3,169
退職給付に係る調整累計額	△55	△54
その他の包括利益累計額合計	2,893	3,125
新株予約権	271	198
少数株主持分	339	424
純資産合計	116,577	123,628
負債純資産合計	163,201	172,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	82,743	98,708
売上原価	47,404	56,253
売上総利益	35,339	42,455
販売費及び一般管理費	25,515	29,846
営業利益	9,824	12,608
営業外収益		
受取利息	92	122
雑収入	90	88
営業外収益合計	183	211
営業外費用		
売上割引	24	29
為替差損	113	109
経営者育成振興寄付金	—	500
雑損失	26	18
営業外費用合計	165	657
経常利益	9,842	12,162
税金等調整前四半期純利益	9,842	12,162
法人税等	3,782	4,518
少数株主損益調整前四半期純利益	6,059	7,643
少数株主利益	11	6
四半期純利益	6,048	7,637

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,059	7,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
為替換算調整勘定	1,416	219
退職給付に係る調整額	—	1
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△0
その他の包括利益合計	1,415	219
四半期包括利益	7,474	7,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,465	7,868
少数株主に係る四半期包括利益	9	△5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,842	12,162
減価償却費	2,100	2,605
のれん償却額	742	808
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	22	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	189	199
賞与引当金の増減額(△は減少)	342	△266
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	128	△269
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△129	12
受取利息及び受取配当金	△92	△122
支払利息	3	5
株式交付費	2	0
株式報酬費用	47	36
為替差損益(△は益)	△553	△90
持分法による投資損益(△は益)	—	△2
売上債権の増減額(△は増加)	129	△3,896
たな卸資産の増減額(△は増加)	△293	△1,627
未払消費税等の増減額(△は減少)	179	△150
仕入債務の増減額(△は減少)	△706	785
その他の資産の増減額(△は増加)	△203	△43
その他の負債の増減額(△は減少)	△593	△463
小計	11,157	9,683
利息及び配当金の受取額	126	180
利息の支払額	△3	△5
法人税等の還付額	599	403
法人税等の支払額	△4,395	△4,288
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,483	5,973
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△302	—
有価証券の売却及び償還による収入	2,600	2,300
固定資産の取得による支出	△2,636	△4,358
固定資産の売却による収入	6	—
保険積立金の積立による支出	△0	—
保険積立金の解約による収入	1	1
定期預金の預入による支出	△10,285	△16,531
定期預金の払戻による収入	2,949	13,194
貸付金の回収による収入	6	—
貸付けによる支出	—	△100
敷金及び保証金の差入による支出	△158	△160
敷金及び保証金の回収による収入	42	△3
その他	12	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,764	△5,674

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100	—
株式の発行による収入	—	500
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	544	—
配当金の支払額	△1,463	△1,407
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,020	△907
現金及び現金同等物に係る換算差額	964	178
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△336	△430
現金及び現金同等物の期首残高	28,068	34,253
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△44	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,687	33,822

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,725	27,508	17,873	85,107	△2,364	82,743
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	39,725	27,508	17,873	85,107	△2,364	82,743
セグメント利益	7,163	1,809	2,524	11,498	△1,674	9,824

のれん等償却前セグメント利益	7,163	2,831	2,524	12,520	△1,674	10,846
----------------	-------	-------	-------	--------	--------	--------

※(参考情報)

セグメント利益にDayton Progress Corporation及びAnchor Lamina America, Inc. 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却費を加算した利益

2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上	金額
報告セグメント計	85,107
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△2,298
その他の調整額	△65
四半期連結損益計算書の売上高	82,743

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,498
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△716
その他の調整額	△957
四半期連結損益計算書の営業利益	9,824

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	48,024	30,780	22,288	101,092	△2,384	98,708
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	48,024	30,780	22,288	101,092	△2,384	98,708
セグメント利益	9,255	2,293	2,100	13,650	△1,041	12,608
のれん等償却前セグメント利益	9,255	3,405	2,100	14,762	△1,041	13,720

※(参考情報)

セグメント利益にDayton Progress Corporation及びAnchor Lamina America, Inc. 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却費を加算した利益

2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上	金額
報告セグメント計	101,092
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△2,384
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の売上高	98,708

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,650
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△956
その他の調整額	△84
四半期連結損益計算書の営業利益	12,608

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの組織管理体制の見直しに伴い、第1四半期連結会計期間より「自動化事業」の一部を移管し、「エレクトロニクス事業」、「その他事業」と統合し、「VONA事業」としております。また従来の「自動化事業」の名称を「FA事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成しております。

(補足情報)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
45,503	10,110	11,008	10,837	4,137	1,146	82,743

(注)売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
10,404	2,296	4,251	2,052	1,453	20,457

2. のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	金型部品事業
当第2四半期 連結累計期間償却額	742
当第2四半期末残高	6,747

当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
53,676	13,773	12,827	11,415	5,241	1,773	98,708

(注)売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
10,161	6,812	4,310	2,150	1,549	24,984

2. のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	金型部品事業
当第2四半期 連結累計期間償却額	808
当第2四半期末残高	5,328